

災害派遣だより【4月23日】

(聞き手：八戸航空基地 広報室)



早朝の作業前の整列風景

機動施設隊 1等海尉 相馬秀輔（八戸市出身）

Q 1 今日の天気は？

はじめはくもりでしたが、昼から雨でした。

Q 2 作業を進める上で、困ったことはありますか？

雨衣（合羽）を着ての作業となりましたが、昨日よりは大分涼しかったです。

Q 3 今日はどんな作業をしましたか？

昨日に引き続き、熊本市東区沼山津の県道232号線で道路啓開（瓦礫の撤去）をしました。予定していた場所は終了しました。また、この作業とは別に2名が昨日と同じく給水（お風呂用）の支援をしました。

Q 4 今思うことや感じることは？

まだ気が張った状態で、疲れは感じていません。給水作業に従事した隊員に聞きましたが、給水支援の作業をしていたら避難している子供たちが集まってきて、「これでお風呂に入れるの？」と聞いてきて、「入れるよ！」と笑顔で答えたら飛び跳ねて喜んでいました。

Q 5 明日はどんな作業をするのですか？

今日、啓開（瓦礫の撤去）が終了した道路の崩れそうな場所に土嚢を積みます。また、この道路に接続している道路の啓開を行います。



貯水タンクへの給水

機動施設隊 2等海曹 木村裕次郎（長崎県出身） 給水作業に従事

Q 1 西原村の河原小学校にはどのくらいの方が避難されているのですか？

約500名ほどです。

Q 2 子供たちが集まって来たそうですが、何人くらいでしたか？

作業開始時は数名でした。それからしばらくして、話しかけてきてずっと私たちの作業に見入っていました。また、子供たちは、「暑いので、早くお風呂に入りたい」と言っていました。わたしもたくさんの方を早くお風呂に入れてあげたいという気持ちで作業していました。

Q 3 作業はどんな内容ですか？

健軍駐屯地から小学校まで片道30分ほどかかりますが、給水車で水を積んで往復しています。少しでも海上自衛隊の活動が被災された方々の疲れをとることができたら嬉しいです。



作業終了後の道路

機動施設隊 海士長 佐々木未来（岩手県出身）

Q 1 今日は何んな作業をしましたか？

昨日と同じ県道232号線の道路の瓦礫の撤去を行いました。

Q 2 作業をされていて何か思ったことや感じたことはありますか？

今日は昼から雨でした。雨は強く降ったり弱く降ったりの繰り返しで、土が泥に変わり滑って大変でしたが、片付いた道路を見た時にはやりきった感がありました。

Q 3 倒壊家屋の瓦礫の撤去には十分な注意を払いながら実施していると、昨日聞きましたが、足元も悪いと更に大変な作業になりましたね。

足元が滑るので、今日は安全を第一に作業しました。これからも作業は続くので怪我をしてはみんなに迷惑がかかります。今は、気力も体力も大丈夫です。今日は雨に濡れましたが、体調管理はしっかりと行い、明日以降の作業に臨みたいと思います。